促進し、 を図ります

エネルギ

-負荷の軽減

近に感じられるエコスクー おいて子供たちが環境問題を身

ルを

るため、

施設

· 教育

運用面に

。球規模の環境問題に対応す





太陽光発電システム 設置補助金の受け付け を11月1日から再開 します(当初予算分とは 条件が異なりますので、 ご注意ください)。

▶対 象

- ・自らが居住する市内の住宅に電力を供給する目的で、 1キロワット以上の発電システムを設置する方
- ・市税の滞納がない方
- ・建築基準法、都市計画法などの違反がない方
- ・平成23年6月1日から平成24年3月10日の期間に発 電システムを設置した(する)方
- ・行田市住宅改修資金補助金の交付を受けていない方
- ▶補助金額 1件80,000円
- ▶申請方法 環境課で配布している申請書(市ホームペ ージからダウンロード可)に必要事項を記入のうえ、 11月1日(火)~12月28日(水)に直接同課に提出して ください。
- ▶その他 すでに設置済みの方でも、6月1日以降に 設置した場合は対象となります。また、予算の範囲内 での補助となりますので、受付予定数の101件に達 した場合は抽選となります。

補助



住宅用高効率給湯器 を設置する方を対象に 補助金を交付します。

象 ▶対

- ・市内に自己の居住を主たる目的として所有している住 宅に未使用の補助対象給湯器を設置した方
- ・補助対象給湯器の保証書に記載されている購入年月日 が平成23年10月1日以降の給湯器
- ・市税の滞納がない方
- ・建築基準法、都市計画法などの違反がない方
- 行田市住宅改修資金補助金の交付を受けていない方

▶補助対象給湯器および金額

- CO2冷媒ヒートポンプ給湯器(エコキュート): 1台 につき20,000円
- ・ガスエンジン給湯機(エコウィル): 1台につき2 0,000円
- ・潜熱回収型給湯器(エコジョーズ、エコフィール): 1 台につき10,000円
- ・燃料電池コージェネレーションシステム(エネファー ム): 1台につき50,000円
- ※補助対象経費が補助金の額の2倍を超えない場合は、 補助金を交付しません。
- ▶申請方法 環境課で配布している申請書(市ホームペ -ジからダウンロード可)に必要事項を記入のうえ、 11月1日(火)~平成24年3月9日(金)に直接同課へ 提出してください。
- ▶その他 予算の範囲内での補助となりますので、予 算額に達した場合は受付期間中でも終了します。

エコスクール化の推 と環境教育の充実

始します。

湯器設置に対する補助事業を開

を目的として、

住宅用高効率給

日を送り、

ギ―設備の普及を促進すること 環境への負荷が少ないエネル

び掛けて実施しています。 市ホー ているほか、 自治会などの団体にも参加を呼 市職員およびその家族で実施し ムページを通し、 「市報ぎょうだ」や 企業や

エコライフロム丫の推進

住宅用高効率給湯器

の推進

夏の結果をお知らせします エコライフロムY2011

ネ・省資源など環境に配慮 エコライフDAYとは、 簡単なチェックシ また、

り ときに排出する り 824万2千995グラムとな 募集をしたところ、 内の一日について実施しました と同じです 持田第一自治会) ました。これは3千495リ 削減できた二酸化炭素の量は トルのガソリンを燃焼させた 7月4日から10日までの期間 「回のエコライフDAYによ 実施していただきました。 エコライフDAY実施の 一酸化炭素の量 から応募があ] 団 体

フスタイルを見直すきっかけを

化炭素の削減量を把握し、

ライ 酸

トで温室効果ガスである一

作る取り組みです。

市内小・中学校の児童、

生徒

参加区分		参加数(人)	二酸化炭素削減量(g)	1人あたりの削減量(g)
小学校低学年 (1~3年生)	児童	1,757	796,596	453
	家族、教職員	3,419	1,430,212	418
小学校高学年 (4~6年生)	児 童	1,834	1,507,468	822
	家族、教職員	2,636	2,152,254	816
中学校	生徒	1,629	1,327,059	815
	家族、教職員	762	630,588	828
— 般	二持田第一自治会	86	61,982	721
市役所	職員など	521	336,836	647
合 計		12,644	8,242,995	652

※参加区分によってチェック項目が異なります。

環境にやさしいまちづくり 民の皆さんと一緒になって 組む姿勢を県内に広くアピ 温暖化対策に積極的に取り されたことにより、 を推進していきます。 問い合わせ 政策担当☎556-95 ルすることができた 今後も、「行田エコタ の創出に向けて、 環境課環境 地 市 本

